

公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会

平成25年度事業報告書

(平成25年1月1日～12月31日)

本年度実施した事業の概要は、次のとおりである。

1. 本協議会定時総会の開催

大会の一環行事として、本協議会の平成25年度第1回理事会ならびに定時総会を開催した。

2. 第64回結核予防全国大会の後援

結核予防会主催の第64回結核予防全国大会を後援した。

なお、本協議会関連の主なる行事は次のとおりである。

【第1日】 3月18日(月) ホテル椿山荘東京(東京都文京区)

イ. 全国結核予防婦人団体連絡協議会平成25年度第1回理事会

ホテル椿山荘東京 (マーズ) 10:00～10:30

ロ. 全国結核予防婦人団体連絡協議会定時総会

ホテル椿山荘東京 (ギャラクシー) 10:40～11:40

ハ. 研鑽集会(分科会)

ホテル椿山荘東京 (オリオン) 13:30～15:30

主 題: 「結核対策の行方 - 日本そして世界 - 」

座 長: 公益財団法人結核予防会 結核研究所副所長 加藤 誠也

ニ. 懇談会

ホテル椿山荘東京 (カトリア) 17:10～17:50

ホ. 記念写真撮影

ホテル椿山荘東京 (フォトスタジオ) 18:00～18:10

ヘ. 大会歓迎レセプション

ホテル椿山荘東京 (ジュピター) 19:00～20:30

【第2日】 3月19日(火)

イ. 大会式典・議事

ホテル椿山荘東京 (オリオン) 10:00～11:20

式次第

(1) 開会のことば

公益財団法人結核予防会副理事長 石川 信克

(2) 開催地あいさつ

東京都知事

- | | | |
|-------------------|--|--------|
| (3) 結核予防会理事長あいさつ | 公益財団法人結核予防会理事長 | 長田 功 |
| (4) 結核予防会総裁おことば | 公益財団法人結核予防会総裁 | |
| (5) 秩父宮妃記念結核予防功労賞 | 第16回受賞者表彰 | |
| (6) 来賓祝辞 | 厚生労働大臣 社団法人日本医師会会長 公益社団法人全国結核予防 婦人団体連絡協議会会長 | 中畔 都舎子 |

□. 特別講演

ホテル椿山荘東京 (オリオン) 11:30 ~ 12:30
 演 題: 高原のサナトリウムと文学者たちの足跡 —富士見高原療養所の歴史—
 講 師: 装丁家・エッセイスト・旧富士見高原療養所資料館館長 荒川じんぺい

- (7) 閉会のことば 公益財団法人結核予防会専務理事 橋本 壽

3. 結核予防関係婦人団体幹部研修会の開催

結核予防関係婦人団体中央講習会を結核予防会との共催により開催した。

地区別結核予防婦人団体幹部研修会を、開催地区結核予防会各支部と地元婦人会との共催のもとで開催した。

結核予防を中心とした公衆衛生知識の向上と、各参加団体会員相互の交流を目的として実施した。

(1) 第17回結核予防関係婦人団体中央講習会

期 日: 平成25年2月12日(火)~13日(水)

場 所: KKRホテル東京(千代田区)

参加人数: 102名

(2) 地区別結核予防婦人団体幹部研修会(5地区)

- | | | | |
|------------|-------|------------|-----------------------|
| イ. 北海道地区 | (北海道) | 7月5日~6日 | 国立大雪青少年交流の家 |
| ロ. 東北地区 | (岩手県) | 11月14日~15日 | ホテル紫苑 |
| ハ. 関東甲信越地区 | (東京都) | 11月22日 | アイビーホール |
| ニ. 中国四国地区 | (徳島県) | 12月4日~5日 | ザグランドパレス/パークウ エストン |
| ホ. 九州地区 | (宮崎県) | 10月15日~16日 | ニューウェルシティ宮崎 |

4. 結核予防週間の共催

厚生労働省、都道府県、政令市、特別区、結核予防会、日本医師会、並びに本協議会共催で、平成25年9月24日~30日に実施した。本週間中には、各地域において全国一斉複十字シール運動キャンペーンをはじめとする各種の行事を行うとともに、結核予防への関心を高めた。複十字誌11月号NO.353の4~5頁に活動を報告した。

5. 教育広報誌「健康の輪」の発行

結核及び公衆衛生全般の知識の向上と会員相互の連携を深める目的で発行しているものであるが、平成25年度も、例年通り3月、7月、11月にそれぞれNo.107、No.108、No.109を発行配布した。A4版 10頁 年3回1回につき 33,000部発行

6. 複十字シール運動の後援、実施

結核予防会主催、厚生労働省・文部科学省及び本協議会后援により実施されている本運動に参加し、結核予防の教育広報並びに資金造成に努めた。

具体的には、以下の2事業を実施した。

- (1) 複十字シール運動開始日(8月1日)を中心として、結核予防会本部役員と本協議会会長が厚生労働大臣室を、結核予防会各都道府県支部幹部職員と本協議会各都道府県の会長が各知事室を訪問し、「大会宣言」を説明に加え、全国及び地域の結核の現状を報告することにより、複十字シール募金運動の意義を理解していただき、各自治体から結核予防思想について広く一般に伝え、一層の普及を図っていただくよう依頼した。
- (2) 結核予防週間の初日(平成25年9月24日)を中心として全国一斉複十字シール運動キャンペーンを、結核予防会各都道府県支部との協力の下に実施し、本運動及び結核予防の普及啓発を図った。複十字誌11月号NO.353の4~5頁に活動を報告した。

7. 普及広報資材の製作

全国一斉複十字シール運動キャンペーン用資材として、マスクケース4,700個を製作し、各地域のキャンペーン時に配布した。

8. 国際協力

結核予防会が行っている国際協力事業を進めるにあたっては、複十字シール募金を通じて資金造成に協力する。その一環としての結核対策スタディツアーへ理事3名と事務局長が参加した。カンボジア結核予防会とカンボジア結核予防婦人会と会議を開催し、地域住民への「結核の知識の普及・啓発の仕方」について話し合った。活動資金としてカンボジア予防会に1,000ドル贈呈した。

期 日 平成25年11月26日~12月1日(5泊6日)

訪問地 カンボジア

参加者 理事 3名

スケジュール 11月26日 成田発(11:45)ーバンコクープノンペン着(19:40)

ホテルチェックイン

11月27日 CATAプロジェクトサイト視察(縫製工場・クアントゥオム・クロッシング・カンボジア(株))

CATA事務所表敬・CATA活動説明・CATA婦人会との交流・CENAT視察(JATA事務所表敬含む)

市内観光(国立博物館・王宮・シルバーパゴダ)

11月28日 自由行動

検診車贈呈式・夕食会

11月29日 国立小児病院見学

市内観光(トゥールスレン博物館)

11月30日 市内観光(キリングフィールド)

自由行動

プノンペン発(20:40)ーバンコクー成田着

12月1日 成田着(7:35)

9. 世界結核デー

3月24日はWHOが制定した「世界結核デー」である。その周知についての広報活動を行った。複十字誌5月NO.350号の10頁、28頁に報告した。

10. ストップ結核パートナーシップ日本への参画

国内の結核対策を充実させ、結核低まん延国化を図る。またこれまでの知見を生かして結核が多い地域への支援を充実させる。このため、行政機関、研究機関、市民社会、民間企業などの多様なセクターで構成された連合体を組織し、加盟団体は協調して政治的支援、住民参加を得て日本と世界の結核対策を推進させた。

毎月の理事会、12月16日の総会に出席した。

11. 生活習慣病対策の後援

これまでの僻地・離島を含めた全国津々浦々で結核健診と保健指導を一体として行ってきた経験と実績をこれからの生活習慣病対策に活かすべく、健診と保健指導を中心とする JATA 健康ネットワーク事業を予防会本部支部防組織を挙げて推進している。

今日の国民病となった生活習慣病対策に取り組む結核予防会を支援し、生活習慣病対策を国民運動に高めた。

12. COPD対策事業への取組

COPD（慢性閉塞性肺疾患）の早期発見と早期治療のための普及啓発を行っている結核予防会と協力し、COPD（慢性閉塞性肺疾患）に関する知識を深め国民の認識と理解を高めるために、地域住民をはじめとする社会への積極的な働きかけをした。

13. 世界禁煙デー

5月31日はWHOが制定した「世界禁煙デー」である。第26回世界禁煙デーの当日は、厚生労働省主催の「たばこによる健康影響を正しく理解しよう」をテーマとしたイベントに協力した。健康の輪 11月号7頁に報告した。

14. 女性の健康週間の協力

厚生労働省、日本産婦人科医会、日本産科婦人科学会主唱の「女性の健康週間」に本協議会は協力関係団体として取り組む。3月1日～8日（ただし、地域の実情による期間延長等の変更は差し支えない）の本週間中には、子宮がん・乳がん健診等の受診率アップや、女性を取り巻く健康課題に対する社会的関心の喚起を図るため、行政が行う各種の啓発事業及び行事等に積極的に協力した。

15. 心の絆プロジェクトの共催

一般社団法人ヒューマン・ケア心の絆プロジェクトが主催する「心の絆プロジェクト」に本協議会は共催し、結核予防会と共に健康相談会のひとつとして肺年齢測定を無料で今年も実施した。

それにより、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の理解を呼びかけ、被災住民に生活習慣病予防のケア活動ができた。

具体的には、以下の3県12ヶ所で417名実施した。

イ. 9月8日（日） 岩手県釜石市 24名

ロ. 9月8日（日） 宮城県気仙沼市 44名

| | | | |
|----|-----------|---------|-----|
| 八. | 9月15日(日) | 岩手県大船渡市 | 11名 |
| 二. | 9月21日(土) | 宮城県名取市 | 42名 |
| ホ. | 9月22日(日) | 岩手県宮古市 | 25名 |
| ハ. | 9月22日(日) | 宮城県東松島市 | 22名 |
| ト. | 9月29日(日) | 岩手県宮古市 | 16名 |
| チ. | 9月29日(日) | 福島県相馬市 | 23名 |
| リ. | 10月6日(日) | 福島県郡山市 | 34名 |
| 又. | 10月6日(日) | 福島県いわき市 | 22名 |
| ル. | 11月2日(土) | 岩手県盛岡市 | 77名 |
| ヲ. | 11月16日(土) | 宮城県気仙沼市 | 77名 |

16. 健康日本21推進全国連絡協議会への協力

すこやか生活習慣国民運動実行委員会の加入団体として、医療、保健、栄養（食生活）、運動、禁煙の各専門分野（分科会）からの情報を共有し、事業展開に協力した。

また、厚生労働省主催のスマートライフプロジェクトイベントに積極的に参加し、肺年齢測定ブース出展をし「肺年齢体験会」を実施してCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の知識を高め、禁煙支援や生活習慣病予防の普及啓発活動を行った。

17. 会議の開催

(1) 定時総会

期日 平成25年3月18日(月) 10:40～11:40
 場所 ホテル椿山荘東京(ギャラクシー)
 議案 平成24年度事業報告 並びに収支決算 について
 平成25年度事業計画(案) 並びに収支予算(案) について
 一部役員を選任を行った。

(2) 理事会

第1回

期日 平成25年3月18日(月) 10:00～10:30
 場所 ホテル椿山荘東京(マーズ)
 議案 平成24年度事業報告 並びに収支決算 について
 平成25年度事業計画(案) 並びに収支予算(案) について
 一部役員を選任を行った。
 業務執行理事からの活動報告を行った。

第2回

期日 平成25年11月20日(水) 13:30～15:20
 場所 結核予防会5階 大会議室
 議案 平成26年度事業計画(案) について
 平成26年度収支予算(案) について
 業務執行理事からの活動報告
 理事選任について(内規)の説明
 定期社員総会について

18. その他

(1) オリンピック 2020 年東京開催に向け東京都の「受動喫煙防止条例」制定に向けての陳情に、NPO法人日本禁煙学会 作田学理事長、特定非営利活動法人東京都地域婦人団体連盟 谷茂岡正子会長、本協議会 山下武子理事・事務局長で都議会の 野上純子議員（公明党）と10月10日午後に面会を果たした。

(2) イサンゴ・アンサンブルによる、ヒロインが結核で命を落とす名作「ラ・ボエーム」の現代アフリカ版創作オペラを後援した。

期日 平成25年12月19日（木）～ 平成25年12月22日（日）

場所 東京芸術劇場プレイハウス